

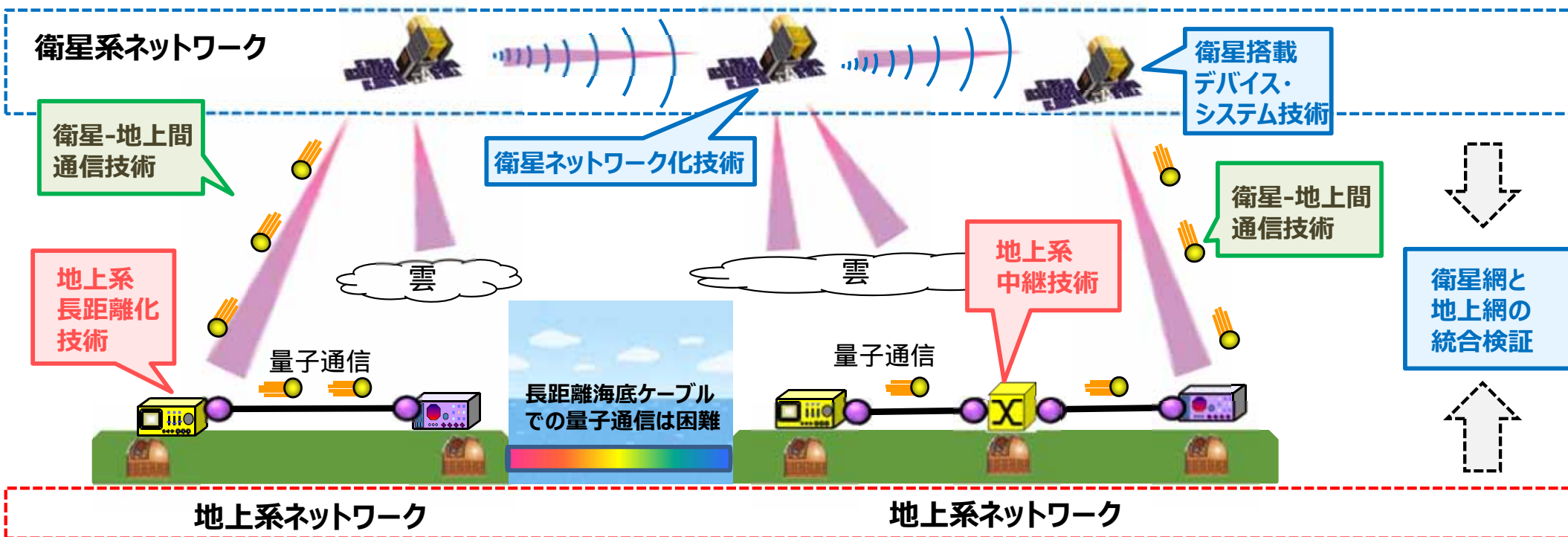
令和3年度補正予算額及び令和4年度予算額（案）

令和4年1月24日
総務省

令和4年度の政府予算状況（総務省）（1）

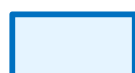
① 量子暗号通信網構築のための研究開発

重要機関間や医療・金融分野等での機密情報等を安全にやりとりするために、量子暗号通信の基盤となる要素技術の研究開発等を実施



「衛星通信における量子暗号技術の研究開発」

H30～R4年度、令和3年度補正予算額：4.8億円（令和3年度当初予算：5.0億円）



「グローバル量子暗号通信網構築のための衛星量子暗号通信の研究開発」

R3～R7年度、令和4年度当初予算(案)：15.0億円（令和3年度当初予算：15.0億円）



「グローバル量子暗号通信網構築のための研究開発」（地上系）

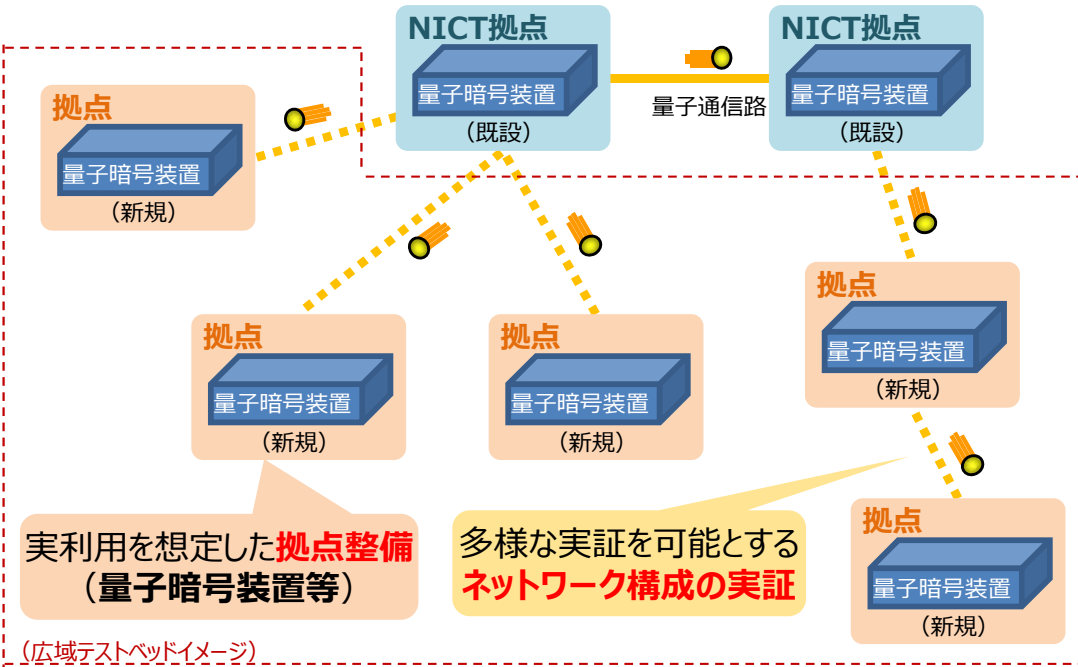
R2～R6年度、令和4年度当初予算(案)：12.5億円（令和3年度当初予算：14.5億円）

② 量子暗号通信ネットワークの社会実装加速のための広域テストベッド整備

量子コンピュータの急激な進展により現代暗号の破綻が懸念されている現状を踏まえ、いかなる計算機でも解読されないことが証明されている量子暗号通信について、社会実装の早期実現を加速化するため、多様な実証を可能とする量子暗号通信ネットワーク（広域テストベッド）を国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）に整備。

R3補正 90.0億円（新規）

NICT = 量子技術イノベーションを推進する量子セキュリティ拠点



③ 衛星コンステレーションにおける量子暗号通信を実現するための光地上局テストベッド環境の整備

多数の衛星を一体的に運用し機能やサービスを提供する衛星コンステレーションで不可欠な量子暗号通信について、天候による影響を回避し、衛星と光地上局の複数地点間の通信ルートを効率的に切替え可能とする設備をNICTに整備。

R3補正 50.5億円（新規）

